



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和5年10月2日 No.11
園長 安藤賢治

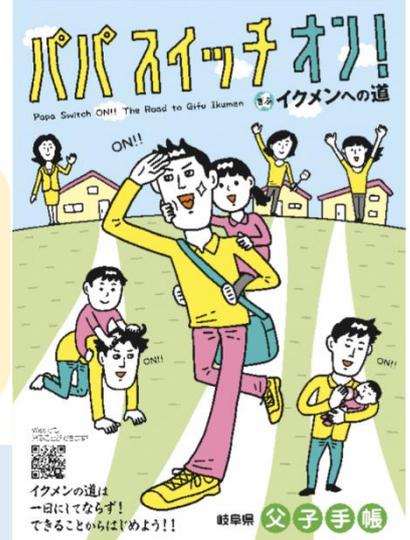
忘れていけない！一緒に育てるパートナー！

◆前回は“おかあさん”に焦点が当たっていました。
しかし、『子育ては、関わる大人たち みんな』が当事者ですね。

育てる男が、家族を変える。社会が動く。



子育ては、自分が・・・！
と力みすぎてもうまくいきません。
頼れるところは、頼って・・・
気づけば、「育てられている我が子」
・・・ありがたい。ありがたい。



～おとうさんの出番～

- ・おかあさんに代わって、今日は「～～を」とフォロー ← プラス「ありがとう」で😊
- ・いつもの分担で「これは、私が！」 ← 一人でより、二人で
- ・力があることは、任せちゃう←頼られる喜び(すごい!の声)
- ・子供の発達(年齢)に応じた遊びを一緒に ← 楽しむ心で

イクメンとは、子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のこと。
イクメンがもっと多くなれば、妻である女性の生き方が、子どもたちの可能性が、家族のあり方が大きく変わっていくはず。

厚生労働省「ロゴマーク」より

*恥ずかしながら、私、『(岐阜県) 父子手帳』が存在することを知りませんでした。

早速、手に入れて確認してみました。<パパが育児をすると・・・子どもに良いこと5つ>

岐阜県「父子手帳」より



- > ママが楽になって、ママと子どもの関係が良くなり、ママのパパへの愛情も深くなる
- > パパが育児をすると、子どもの自己評価が上がって、生きる力が育つ
- > パパがほめると子どもが学校や社会に出る勇気になる
- > パパとからだを使って遊べば、子どものからだ丈夫になる
- > パパにきちんとしかってもらえると、子どもはルールを守る

*各家庭ごとに、子育てに係るスタイルはいろいろあることでしょう。お父さんに代わる人も・・・
なにより、「子供の幸せを第一に」の思いはみんなの願いのはず。それなら！ と実際に動きだす。

《パパ スイッチ オン!》

イクメンの道は
一日にしてならず!
できることから はじめよう!!

> CSの地域応援隊の方々も同じ願いです
10/13金 「さつまいも掘り」

「三つ子の魂 百まで」ということわざがありますが、「3歳までにきちんとしつけなければ、100歳まで変わらない」という意味ではありません。

いちばん大切なことは、3歳までに「この世の中に、生まれてきてよかった」「周りは自分を大切にしてくれる」という信頼感、自己肯定感を育むこと。共働きでも家族や地域の人々に協力してもらい、愛情を注げば子どもはきちんと育ちます。 岐阜県「父子手帳」より